

# 東京デザイン専門学校 学校関係者評価報告書

(平成29年度)

実施日 平成29年12月7日・12日

※平成29年度学校自己評価（基準日：平成29年3月1日）  
をもとに評価実施

学校法人原宿学園  
東京デザイン専門学校

## 平成29年度 学校関係者評価報告書について

学校法人原宿学園東京デザイン専門学校は、すべての教育活動・学校運営業務において、現状を客観的に確認しながら評価し、改善向上を図るために平成15年度より学校自己評価を実施しています。また、平成21年度には、本校に関係の深い方々のご意見を広くお聞きし、教育・学校運営に反映すべく学校関係者評価を実施しました。平成25年度からは学校自己評価及び学校関係者評価を毎年実施しています。その際にいただいた多くの貴重なご意見は、その後の施策に反映させていただき、あらためて学校評価の重要性を認識しているところです。

この度は、在学生保護者・卒業生・デザイン関連業界団体の皆様やデザイン・教育等に見識をお持ちの方々に平成29年度学校自己評価の結果をお示しし、ご意見をいただきましたので、ここにご報告させていただきます。

今後もより良い学校となるべく教職員一同、一層努力して参る所存です。引き続きご支援、ご指導の程何卒よろしくお願い申し上げます。

平成30年1月

学校法人原宿学園

東京デザイン専門学校

学校長・学校評価委員会委員長

今村 昭秀

## 学校関係者評価の実施方法と今後の取り組み

### 【評価委員】

学校教育法施行規則の規定、文部科学省、東京都ほか関係行政機関のご指導をふまえ、在学生保護者、卒業生、デザイン関連業界団体・企業、学識経験者等10名の方々に評価委員をお願いいたしました。（詳細は次頁をご覧ください）

### 【評価方法】

評価者の方々に、学校関係者評価の概要や私立専門学校等評価研究機構が策定した学校評価基準 Ver. 4（文部科学省生涯学習政策局による専門学校における学校評価ガイドラインに準拠）の評価項目および学校自己評価報告書を事前にお示しし、平成29年12月7日（木）在学生保護者委員に、同月12日（火）デザイン関連業界団体・企業等委員にご参集いただきました。

施設・設備や授業などをご見学いただいた後、平成29年度学校自己評価報告書の点検項目に沿ってご質問、ご意見をいただきました。

### 【報告書】

いただいたご意見等を学校長以下教職員で組織する学校評価委員会で承り、要旨を本報告書にとりまとめました。平成29年度学校自己評価報告書と併せてお読みください。

### 【報告書の構成】

本報告書は以下のとおり記述しています。

- 学校自己評価報告書の評価基準・点検項目
- 評価者の意見・質問
- 質問・指摘の場合は本校の回答

### 【今後の取り組み】

ご意見は、次年度以降の教育計画、教育課程編成、業務計画、施設・設備計画などを立案する際、十分に考慮し、可能な項目より実現に向けて取り組んで参ります。また、平成28年3月に職業実践専門課程に設置全9学科が認定されたこともふまえ、学校評価事業は毎年度、継続していきます。

※本校は特定非営利団体私立専門学校等評価研究機構の会員です。

東京デザイン専門学校 学校評価委員会

## 学校関係者評価者ご紹介（敬称略）

### 【在学生保護者】

ビジュアルデザイン科3年生保護者  
平本 有美  
グラフィックデザイン科1年生保護者  
筒井 ルミ子  
イラストレーション科2年生保護者  
石濱 千秋  
インテリアデザイン科1年生保護者  
今井 京子  
ディスプレイデザイン科2年生保護者  
清野 幸江

### 【関連業界団体・企業】

公益社団法人日本広告制作協会 前理事長  
鈴木 清文  
一般社団法人日本空間デザイン協会 会長  
鈴木 恵千代  
株式会社ZUBON 代表取締役CEO  
熊田 正史

### 【卒業生】

本校グラフィックデザイン科卒業  
東京デザイン専門学校校友会 会長  
特定非営利活動法人日本タイポグラフィ協会事務局長  
アルファルファ アートディレクター  
相澤 竹夫

### 【学識経験者】

商店街振興組合原宿表参道櫓会 副理事長  
松本 ルキ

学校関係者評価者が所属する団体の詳細は公式サイトをご参照ください

公益社団法人日本広告制作協会 <http://www.oac.or.jp/>  
一般社団法人日本空間デザイン協会 <http://www.dsa.or.jp>  
特定非営利活動法人日本タイポグラフィ協会 <http://www.typography.or.jp>  
商店街振興組合原宿表参道櫓会 <http://www.omotesando.or.jp/>

## 基準 1 教育理念・目的・育成人材像

点検項目【1-1】理念・目的・育成人材像
----------------------

この項目は【関連業界団体・企業】【卒業生】【学識経験者】の方々からご意見をいただいています。

### 評価者意見・質疑

- 自己評価書に記載されている内容は、これからのクリエイターに求められる資質と合致している。クリエイターは高いコミュニケーション能力が求められており、基礎と基本を重視して学んだ人は社会に出て活躍し、更に経験を通してスキルを身につけ成長している。また、地域や企業と連携することで総合的なスキルを身につけることができる。
- デザインの勉強だけでなく文学などの思考もスキルアップに大きな影響を与えていると感じている。
- 目に見えないものを分かりやすく可視化させていく能力が求められている。それは本質的なことを一瞬にして読み取る力であり、小説を読むことや自然に触れることなど、デザインとは関係がなさそうなものを日常から取り入れることで感性が磨かれ身に付いていくものである。
- 都会生活のサラリーマンがなくなっているものを見つけることがクリエイターの生き残る力だと考える。都会の人は流行に敏感だが磨り減り欠けてしまっているものがある。スキルではなく日常生活の中で自然に親しむことなどから感性を磨き本質を突き詰めていく力を身につけ人間力を高めて欲しい。
- デザインが好きだという気持ちを伸ばしていくことが大切である。
- 従来のにこだわらず柔軟な心を持ち続けることがクリエイターに求められる資質である。
- これからは様々な形のプロが出てくるかもしれない。また、今ある職業が将来はなくなっていることも考えられる。学校で学んでいることはツールであり、使いこなすのは学生一人ひとりである。多様化していく社会の中で将来どのような職業にも対応できるための土台作りだと思って努力してほしい。

## 基準 2 学校運営

点検項目【2-2】運営方針
---------------

点検項目【2-3】事業計画
---------------

点検項目【2-4】運営組織
---------------

点検項目【2-5】人事・給与制度
------------------

点検項目【2-6】意思決定システム
-------------------

点検項目【2-7】情報システム
-----------------

この項目は、ご意見がありませんでした。

### 基準3 教育活動

#### 点検項目【3-8】目標の設定

この項目は【関連業界団体・企業】【卒業生】【学識経験者】の方々からご意見をいただいています。

#### 評価者意見・質疑

□デジタル先進国の韓国はプラットフォームをスマホに合わせることでコマのないマンガを配信している。日本でも大手デジタル出版社が韓国マンガを日本語版にして配信しているが、紙媒体の出版社は対応できていない。スマホでヒットしたマンガは単行本にしても売れるため、単行本にすることを前提にスマホ用のマンガを制作しており、音や動きを楽しめるスマホの特性が活かされていない。デジタルの新しいプラットフォームに適応した学科があると新しいヒット作品が生まれるのではないかと。

□デジタルと紙媒体の垣根がなくなっている。例えば、スマホや電車の広告で短編アニメーションが増えているが、アニメーターが手がけるほどでもなくマンガでもないため、クリエイターのジャンルが分からなくなっている。

学校は紙媒体を前提にカリキュラムを組んでいるが、デジタルも融合させた学科が必要ではないか。専門学校は社会的需要に対して供給できるクリエイターを輩出することが使命と考える。

□授業見学した際にどの授業においても学生は手で描いていた。デザインの基礎は手描きであり、本校の手描き重視の方針は今後も継続してもらいたい。デジタルの世界に進んでいくうえでも基本を習得しておくことは重要である。

□パソコンだけでなく写真やフォントも簡単に使うことができるようになったため、最近ではミュージシャン自身がCDジャケットを作るようになっている。サイズが大きいと粗が見えるが、CDジャケットなどサイズが小さいものは細部ではなくインパクトに重点が置かれている。細部にこだわりを持つことがグラフィックデザイナーの仕事だが、その役割が求められない分野が増えていることを実感している。

□大企業はクライアントとの間に代理店を介在させる形態を変えないが、ある若手デザイナーと話した際に、クライアントへのアプローチの変化を感じた。グラフィックデザイナーという肩書きにこだわらず、代理店を介在させずにクライアントと密に関わり、出来上がるまでの過程や喜び、充実感までもお互いに共有している。デザイナーもコミュニケーション能力によってクライアントと直接パートナーの関係を築くことができるなど仕事のやり方は多様化してきている。

□グラフィックデザイナーの仕事の多くはコミュニケーションデザインと言われるようになってきた。クライアントが新商品を出す際にはチームを組むが、クライアントの要望に瞬時に応え機動性をもたせるためにアートディレクターを中心としたチームを会社で持つようになってきている。最適な方法を提供するためにはクライアントの要となる人を説得し一緒に取り組んでいくなどのコミュニケーション能力が重要となる。マーケティングは代理店の仕事だが、自在さとスピード感をもった表現方法で顧客に提案していくことがこれからのデザイナーの仕事となっていく。

- 全体を取りまとめるアートディレクターは多くのデザイナーが目標とする仕事だが、ほとんどの人が分業されている役割の一つを担うことになる。目標はアートディレクターかもしれないが、アートディレクターにたどり着けない人のゴール設定も今後の課題となる。

点検項目【3-9】教育方法・評価等
点検項目【3-10】成績評価・単位認定等
点検項目【3-11】資格・免許の取得の指導体制
点検項目【3-12】教員・教員組織

この項目は、ご意見がありませんでした。

#### 基準4 学修成果

点検項目【4-13】就職率
点検項目【4-14】資格・免許の取得率
点検項目【4-15】卒業生の社会的評価

この項目は、ご意見がありませんでした。

#### 基準5 学生支援

点検項目【5-16】就職等進路
-----------------

この項目は【保護者】【関連業界団体・企業】【卒業生】【学識経験者】の方々からご意見をいただいています。

##### 評価者意見・質疑

- 昨年の学校関係者評価委員会に出席した際、春頃には内定が出ている人もいるとの話があったが、子供は就活を開始していなかったため心配した。9月の保護者会で先生に相談した際も「心配ない」「大丈夫」と言われたが、それでも不安だった。

学校からの回答 > 活動状況は学科や個人によって差がある。スペース系は求人が早い傾向にあるため4月に内定が出ていることもある。11月末現在の内定率は約5割となっている。

- 面接が多様化しているようで、私服や食事会形式のこともあった。
- 学校で配付している就職ハンドブックは礼儀作法や文例など、とても良くまとめられている。
- 空間業界は幅広いためすべてを経験することができず、入社して配属されると同じ部署に留まってしまうことがほとんどである。アルバイトや派遣社員で様々なセクションの経験を積み、自分の進みたい道を決めてから就職するという考えもある。

点検項目【5-17】中途退学への対応
--------------------

点検項目【5-18】学生相談
----------------

この項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【5-19】学生生活
----------------

この項目は【保護者】の方々からご意見をいただいています。

#### 評価者意見・質疑

学費は決して安くはないが、美術系の学校はどこも似たような水準。学費以外にも作品制作に材料費がかかるが、子供なりに負担を抑える工夫をしているようだ。

本や写真集の制作費、パネル代などで数万円かかることがあった。

学校からの回答 > パネルは作品展などの特別な時にだけ必要となる。授業で本や写真集を作る時は手作りするようにしている。就職活動のポートフォリオ用に写真集を業者に発注する学生もいる。

奨学金のTDAスカラシップ制度が分かりづらい。子供から申請の相談を受けたが、奨学金は貸与型のイメージが強く返済の必要があるのかと思い申請しなかった。また、提出書類に親の年収の記入項目があったため申請するのがためらわれた。

学校からの回答 > TDAスカラシップ制度は給付型であり返済不要となっている。経済的な支援を必要とし、かつ成績・出席状況が良好な学生に対し支給している。対象は2、3年生で毎年5月頃に周知している。今年は希望者64名中38名採用、対象者の約8%にあたる。また、提出書類の年収は自己申告としている。選考にあたり年収は金額で判断するわけではなく家族構成・家庭の事情なども考慮している。自分のアルバイト代を学費や交通費に充てている場合は、アルバイト先に収入証明書を発行してもらい提出するよう求めている。

制度内容について、誤解なく明確に周知していくよう努めていく。

課題への先生の指摘・注文に対し、求められているレベルに応えられずに悩んでいるようだ。

学校からの回答 > 先生の個性も様々であり、中には言い方が厳しい先生もいる。目標を先生の理想のレベルに設定するのではなく、個々のレベルに合わせていく必要があると感じており、今後も留意していきたい。

学校に対して不満は言わないが、コンビニがなくて不便と言っている。学食も混んでいて食べられないようだ。

学校からの回答 > 学食への意見は以前から多く寄せられ課題の一つと認識しており、料理提供時間を短くしたり、味やメニュー数など工夫を重ねてきている。メニューが少ないとの指摘もあるが混雑緩和のためにあえて増やさないようにしている。また、パン・菓子の自販機を設置しているが、昼食としては足りず要望に応えきれていない。改善に向けて引き続き検討していきたい。



□以前、1号館のテラスでお弁当を食べようとしたら喫煙者がいて食べられなかったそう  
うだ。喫煙指導はどうなっているか。また、一般企業でも全館禁煙が広まってきてい  
るので検討してもらいたい。

学校からの回答 >今年9月に喫煙スペースを再整備した。以前は1号館4階テラス  
及び2号館屋上の全域としていたが、全域から一部のエリアのみへと変更した。喫煙  
スペースから離れば非喫煙者も気にならないと思われる。過去に全館禁煙の校舎が  
あったが校舎付近の道路で喫煙する学生がいて近隣に迷惑をかけた経緯があり、全面  
禁煙は理想ではあるがすぐの対応が難しい状況となっている。

一部の喫煙マナーの悪い学生が問題になっているが、決められたスペースでマナーを  
守り喫煙する習慣を身につけさせていくことで全面禁煙実施に向けてのステップとし  
ていきたい。

□自宅で完成させた模型を持っていくのが大変で始発電車で登校したことがある。ま  
た、課題の仕上げが大変で徹夜をしたこともある。学期始めに授業の進行スケジュー  
ルを伝えるなど、課題の出し方を工夫して学期末の負担を軽減させることはできない  
か。

学校からの回答 >学期始めのガイダンスでシラバスの内容とスケジュールを伝えて  
いる。どの授業も提出期限が学期末になることが多く重なってしまうため、学期末の  
2週間は自習室の開室時間を延長するなど対応している。近年、課題の量は減少傾向  
にある。

□ロッカーを他校舎にも設置してほしい。2号館に取りに行くのが大変なので利用して  
いない。

学校からの回答 >学校側も状況を認識してはいるが、スペースの問題と校舎が点在  
していることから制約も多く改善が難しい状況にある。

#### 点検項目【5-20】保護者との連携

この項目は【保護者】の方々からご意見をいただいています。

##### 評価者意見・質疑

□保護者会でクラスの参加者が4～5名と少人数だったので話しやすい雰囲気だった。  
子供の友人の保護者とも話すことができて良かった。

□保護者会で就職に向けての学校長の話聞くことができて良かった。

□子供と一緒に保護者会に参加し三者面談をした。順番は最後だったが、待ち時間に担  
当学科の先生が質問を受けてくれていたので先生を困らせて色々な話を聞くことがで  
きた。

□保護者会での先生との面談の待ち時間を利用して保護者同士の交流の場を設けたら良いのではないかと。待機席の並びが全員前を向いているため保護者間で話しづらい雰囲気がある。

学校からの回答 >ご指摘は貴重な意見として受け止め、改善に努めていきたい。

□メールマガジンは学校で行われている内容が分かるので良いと思う。

□メールマガジンで学生作品を見たい。子供たちも刺激を受けてよいと思う。また、文字ばかりだと重要なことが分かりづらい。

学校からの回答 >学生作品は本人の許可を得れば掲載可能であるため検討したい。また、視覚的に分かりやすくなるよう改善していきたい。

#### 点検項目【5-21】卒業生・社会人

この項目は、ご意見がありませんでした。

### 基準6 教育環境

#### 点検項目【6-22】施設・設備等

この項目は、ご意見がありませんでした。

#### 点検項目【6-23】学外実習・インターンシップ等

この項目は【関連業界団体・企業】【卒業生】【学識経験者】の方々からご意見をいただいています。

#### 評価者意見・質疑

□インターンシップの受け入れ方が変化してきている。以前は1週間程度でスタッフに付いて実習していたが、最近は2日間程度でコラボレーションやグループ課題を行っている。企業によっては年数回実施して採用の選考をしていることもある。

□インターンシップは繁忙期・閑散期に関わらず受け入れているため、過去は繁忙期となると受け入れ企業側の負担になることもあったが、最近は若い人々に興味を持ってもらうために受け入れ体制も変化してきている。現場を知ることが学生のためになるので、実際にプロの仕事を見て経験してもらいたい。

□産学連携からインターンシップへ発展していくのも一案ではないか。デザイン業界でなくても会社の先輩方が一生懸命に働いている姿を見るのが一番の経験となる。

#### 点検項目【6-24】防災・安全管理

この項目は、ご意見がありませんでした。

### 基準7 学生の募集と受け入れ

#### 点検項目【7-25】学生募集活動

この項目は【保護者】の方々からご意見をいただいています。

##### 評価者意見・質疑

- 美大はハードルが高いと感じていたため、親子で複数の専門学校を見学した。本校は明るく雰囲気良く、最初の印象がとても良かった。入学後も楽しんでいる。
- 建築系は製図中心の学校が多い中、本校はデザインを主体として学ぶことができ能力を引き出してもらえるのではないかと可能性を感じた。
- 現在、子供がオープンキャンパスの手伝いをしており、学校長の来校者向け挨拶に「自分に合う学校・合わない学校があるので合う学校を探してほしい。」との話があったと言っていた。数多くある専門学校を選ぶにあたり真剣に選ぶ契機になるメッセージだと感じた。
- 高校側は大学を勧めているため専門学校の情報はほとんどなかった。

#### 点検項目【7-26】入学選考

この項目は【保護者】の方々からご意見をいただいています。

##### 評価者意見・質疑

- AOで入学した。面接をすることで自分に合っている学校かを確認できるので良いと思う。
- 3月に出願したが、出願時期が遅かったこともあり、定員充足状況を問い合わせたが教えてもらえなかった。  
学校からの回答 >問い合わせがあった場合には、定員の充足状況を回答することとしている。

#### 点検項目【7-27】学納金

この項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準 8 財務

点検項目【8-28】財務基盤
点検項目【8-29】予算・収支計画
点検項目【8-30】監査
点検項目【8-31】財務情報の公開

この項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準 9 法令等の遵守

点検項目【9-32】関係法令、設置基準等の遵守
点検項目【9-33】個人情報保護
点検項目【9-34】学校評価
点検項目【9-35】教育情報の公開

この項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準 10 社会貢献・地域貢献

点検項目【10-36】社会貢献・地域貢献・国際交流
---------------------------

この項目は【関連業界団体・企業】【卒業生】【学識経験者】の方々からご意見をいただいています。

### 評価者意見・質疑

- オリンピックに向けて原宿・渋谷ならではの地域性のある関わりがあると良いのではないかと感じている。東京オリンピック開催の年に明治神宮が100年を迎えるにあたり、参道を歩行者優先にする計画を立てている。変化の激しいエリアでもあるため、地域活動により一層参加してもらい学校のPR活動につなげてほしい。
- 地域貢献や社会貢献をあえて意識して行う必要はないと感じている。例えば、近隣で食事やアルバイトをすることも地域貢献になるのではないかと感じている。学生の本分である勉強と遊びを謳歌してほしい。学生である時間が長いほど人生が豊かになると感じている。
- 地方では地方都市の産業振興が望まれている。例えば、ある都市では廃校になった小学校を宿泊施設に転用し地域貢献してくれる人に優先的に貸し出している。夏休みを利用して合宿を行い地域の人々と交流している例もある。自然の中で様々なことをするチャンス、交流を持つチャンスを学生に与えてほしい。

点検項目【10-37】ボランティア活動

この項目は、ご意見がありませんでした。



T O K Y O  
D E S I G N  
A C A D E M Y

学校法人原宿学園

## 東京デザイン専門学校

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-62-8

学校関係者評価報告書についてのお問合せ先

総合企画部 TEL 03-3475-0171